

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」  
令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

## 道南・情報 実施報告



令和6年11月22日（金）、北海道室蘭東翔高等学校を会場に、道南ブロック（胆振、日高、渡島、檜山管内）授業等改善セミナー（情報）を開催しました。各管内から10名の参加がありました。本セミナーの実施内容等を紹介いたしますので、授業改善の参考として御活用ください。

### 実施状況

**【説明】** 「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマとして指導主事が説明をした。参加者は、個別最適な学びのイメージ、協働的な学びのイメージなどについて各自クラウドに入力し、リアルタイムに共有、他者参照しながら説明を聞いた。また、学びに困難さを抱える生徒への配慮、教科における探究的な学びなど、ICT活用に関する様々な情報を共有した。



### 【実践発表】「情報科における個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実」

教科情報のスペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生から、「情報科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマに、情報Ⅰの単元「データの活用」における授業実践を紹介いただいた。令和6年度「高等学校教育課程編成・実施の手引（共通教科情報）」を基に、教材や指導上の工夫について詳しい説明がなされるとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について、学びの転換や問いの重要性、学習環境の転換などの情報共有を行った。

※ [令和6年度高等学校教育課程編成・実施の手引・共通教科情報はこちらから](#)



### 【ワークショップ】「『個別最適な学び』や『協働的な学び』を充実させるための学習活動の工夫について」

教科情報のスペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生が実践されている個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業を、参加の先生方に体験していただいた。データ分析の手法を体験するとともに、授業での導入方法やデータ分析を通じて問題解決に繋げる手法を学び、自身の授業づくりに反映できるよう考えながら取り組んでいた。



## 【研究協議】「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」

ワークショップの実施後に、「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」をテーマに研究協議を行った。テーマを踏まえて、自校における実践や課題について積極的な意見交換を行った。



協議の中で共有された個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のイメージならびに今後先生方が取り組みたいと考えられた内容は次のとおりである。

### ○個別最適な学びのイメージ

自己調節学習、個々の理解度・進捗度に応じた学習

### ○協働的な学びのイメージ

他者と知識を共有・問題解決していく学び、学び合い・教え合い、理解の深化

### ○一体的な充実が図られた授業のイメージ

個々の学びを全体共有することによる深化、参加型で学びを実感できる授業

### ○今後取り組みたい内容

他教科との連携や総合的な探究の時間との連携を意識した探究的な学び

意図された質の良い問いを立て、生徒が個別最適な学びと協働的な学びを実感できる授業

## セミナー参加者の声

### 【参加者の声】

- ・実際の授業での取組として情報共有されて大きな学びになりました。
- ・新たなツールやオープンソースの活用方法を理解できたので、応用したいと思います。
- ・ICT 活用だけにこだわる必要はないというところが逆に良いなと思いました。
- ・研究協議で話題になった他教科との連携をもう少し取り入れるようにしたいと思います。
- ・プログラミングを用いたデータの分析や、Googleトレンドは今後使いたいと思いました。
- ・問いの大切さを改めて感じました。同じ質問、同じ結果に導くために、どのような問いを与えるべきか、深く考えていきたいと思います。

### 【アンケートの結果（一部）】

- 1 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解が深まりましたか。
  - ・おおいに深まった 25.0%
  - ・深まった 50.0%
- 2 本セミナーの内容はあなたの今後の授業改善に活用できますか。
  - ・大いに活用できる 50.0%
  - ・活用できる 50.0%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<胆振教育局ウェブページURL>

<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ibk/koukouhan.html>

